



多田だより

URL <http://nk-tada-e.a.la9.jp/>

平成28年度特別号
発行 平成29年 3月24日
中野区立多田小学校
校長 松井 敏
児童数 291名
卒業生総数 8581名

多田小学校に心を寄せて

校長 松 井 敏

桜の季節を迎えようとしています。開校75周年を迎えた本校は、平成29年3月31日をもって、その歴史に幕を閉じ、閉校を迎えます。

本校は、昭和15年に東京府雑色尋常小学校多田分教場として誕生して以来、戦火を逃れ、現在の中野区立多田小学校となり、地域の中の学校として現在に至っています。これまで数多くのすぐれた人材を輩出、本年度44名の卒業生を加え、卒業生総数は8581名になります。

わたしは、小学校時代は「思い出づくりの時代」だと思っています。楽しい思い出、ほろ苦い思い出、忘れられない思い出・・・鮮やかにその場面が浮かび上がるような思い出があると思います。多田小学校を卒業した8581名の皆さんにもそんな数々の思い出があるに違いありません。多田小学校を舞台とした数々の思い出は、学校が閉校になっても消えることはありません。それぞれの方の心の中に生き続けるものです。

今年度1年間、「75周年をお祝いする年、同時に閉校でお別れする年」と全校朝会、開校記念集会やホームカミングデー、儀式的行事等の折りに触れて、子供たちに話をしてきました。学校の成り立ちや歴史、歩みを知るために、「75周年記念副読本」を発行し、子供たちの学習に役立ててきました。ホームカミングデーでは卒業生や地域の方々と「多田小まつり」、「開校記念集会」、「校歌集会」を設けました。多田小学校に心を寄せる方々が数多く訪れてくださいました。全学年での地域や保護者の方々との学習を行うこともできました。学校や地域への愛着を深めていくことにつながると考えたからです。

どれも、この1年でできたことではありません。70周年をはじめ、これまでの周年行事で残された貴重な財産がたくさんありました。史料展示室での学習も展開できました。地域や人材の情報を地域や保護者の方をはじめ、様々な方から提供してもらいました。閉校、統合再編に向かうという学校状況をご理解いただいた上での、副読本やDVD制作へのPTAの皆様の後押しも大変ありがたいものでした。これらのことは、多田小学校が75周年を迎えるまでの間で築かれてきたものだと思います。何より、これまでの多田小学校に心寄せる方々に支えられてこそ、「75周年、閉校の年」が過ごせたのだと考えます。深く感謝申し上げます。

この多田小学校の歩みの中で、数々の思い出をつくってきた卒業生が8581名、在校生を加えると8828名、そこに保護者の方、そして地域の方、教職員・・・たくさんの方々の思い出が詰まった多田小学校です。平成29年3月31日、その歴史に幕を下ろし、閉校します。23日に最後の卒業式を行いました。そして、24日に修了式、離任式、閉校式を行います。

4月には、新山小学校と統合した南台小学校が開校、新しい船出となります。これまで多田小学校がいただきましたように新校、南台小学校におきましても変わらぬあたたかなお心寄せを賜りますようお願い申し上げます。

多田小メモリアルの1年間

(4月号) 開校した頃の学校・まわりの様子

多田小は昭和16年に新山国民学校から分かれ、独立開校しました。今から75年前のことで、太平洋戦争が始まった年でもあります。1年から5年までの10学級、児童数528名のスタートで、クラスは男組と女組に分かれていました。

木造2階建ての校舎だった学校のまわりは、ほとんどが、田や畑、雑木林でした。ところどころに、大きな農家があり、きれいな流れの神田川で泳いだり、つりをしたり、草むらや林で虫とりや木の実ひろいをして遊んでいたそうです。目に浮かぶでしょうか。

1年間、多田小の歴史や特色を振り返り、多田小メモリアルとして紹介します。

(5月号) 先輩方の足跡と願いや願い

75周年を迎える本校、30周年から5種類の周年記念誌があります。70周年には、副読本「わたしたちの多田」も作成されました。開校前後からの学校や地域の移り変わりがとてもよく分かります。その他の資料に20周年のPTA機関紙12号「多田」があります。20周年記念事業として、給食食器一式、動物・昆虫飼育舎、教材園、楽焼かまど、児童文庫、記念植樹等が行われたことが分かります。先輩方の本校の教育環境充実に向けた強い意志が感じ取れます。

開校を迎える年、現在の多田小にかかわる者が、このような先輩方の足跡と願いや願いを、しっかりと受け止めておく必要性を感じています。そのために、周年記念誌の残部をお分けしようと考えています。学校までご連絡ください。

(6月号) 多田小学校校歌・・・むかしは広い

運動会では、多田Oneの演奏に合わせて校歌を歌いました。周回で見ていた保護者や地域の方々も口ずさんでくださいました。「むかしは、広い武蔵野の・・・」で始まる現在の校歌は、開校10周年の記念に生れました。1番の歌詞には、この地域の昔からの変化、発展が描かれています。「こころやさしく、ぎょうぎよく、ひととてほんと・・・」という2番には、多田小の子供たちがどのように育ってほしいかという願いが込められています。そして、3番には、「・・・せかいのひとと、てをつなぎ・・・」と広い世界を意識することの大切さも込められています。グローバルな人材が求められている現在を先見する歌詞です。

この素敵な校歌を最後の1年、みんなで心を込めて、歌い継いでいきます。

(7月号) 資料展示室・・・多田小のお宝

本校の2Fの東側に「資料展示室」があります。50周年の記念事業で整備された貴重な展示室です。展示室には、多田小の歴史を伝える写真の他、昔(今から100年ぐらい前)から使っていた農耕具、昔遊びの道具、多田小学校の校旗や校名プレート(銘板)の歴史、周年行事の様子、昔の通知表、赤穂への集団疎開の様子に分かる資料等、「多田小のお宝」が残されています。11代校長の代田源三先生からいただいた平和への願いの込められた「ヒルマの望郷」もこの部屋に展示しています。社会科の学習にも活用できる部屋です。

夏の改修工事後も、そのままだけです。可能な限り、学校公開日には開放し、多数の方に資料展示室を見ていただく予定です。「多田小のお宝」に触れてください。

(夏休み号) ホームカミングデーでの出来事

7月9日(土)はホームカミングデーでした。卒業生や旧教職員、地域の方もお越しいただき、多田町の主張集会、多田小まつりを開催いただきました。多田町の主張では、多田小のよいところがたくさん出されました。

この日に卒業生の訪問がありました。その方は、50歳の時にクラス会を再開し、60歳、70歳と10年ごとに行い、これからは毎年行う予定だそうです。校内の「史料展示室」に案内すると、展示写真に、その方のお父様が映っていることが分かり、「まさか、ここで、親父に会えるとは思わなかった。ありがたい。」と感激していらっしやいました。その後、統合再編や閉校のお話をする中、その卒業生の方は、閉校前の1月に本年度2回目のクラス会をもつことを決められました。会場は、もちろん多田小学校です。

周年記念誌の写真を眺めながら、懐かしそうに、そして嬉しそうに小学校時代のお話をされる卒業生の姿に、あたたかい気持ちになりました。同時に、多田小学校に触れて来ていただいたことを大変ありがたく思いました。

(10月号) 校歌や校内掲示物

正面昇降口には、昭和46年第29回卒業生が作成した校歌のレリーフが掲示されています。目を左に向けると、多田小学校の歴史、あゆみや地域の移り変わりが掲示してあります。

現在、8時15分のチャイムの後に校歌を流しているところです。学校公開では、「史料展示室公開」や「多田小今昔物語放映」を予定しています。多田小学校最後の一年、関係する多くの方々に御来校いただけるよう願っております。

(11月号) 校長室の歴代校長写真

～当時を思い出す

校長室に歴代校長の写真(第21代まで)が掛けられています。卒業生がいらっしやると写真を見て、必ず自分が小学校の時は・・・とお話してくれます。当時を思い出すことができるそうです。写真を見ると第14代校長は、「牧敏雄(まきとしお)」先生です。学校劇脚本家「牧杜子尾」としても有名で、たくさんの脚本を書かれています。その中に「ほんとうのだからものは」があります。4年生が全くいきさつを知らずに選びました。本年度、多田小最後の学芸会で4年生が演じるのです。ご縁と巡り合わせに感謝しています。

(12月号) 周年記念誌をお持ち帰りください

今年は75周年、そして最後の一年です。「多田小学校最後」という冠がついた大きな学校行事(5月運動会、11月学芸会)が終わりました。先日、開校75周年副読本「わたしたちの多田」ができました。子供たちは、これからその副読本で学習していくことになります。

12月・1月の学校公開日に、学校に残っているこれまでに作成した、周年記念誌(50、60、70周年)をお持ち帰りできるように考えています。詳細は、学校公開の案内にてお知らせします。

(1月号) 多田小学校校歌を!

<1月14日(土)>

1月14日(土)は多田小学校最後の学校公開日です。道徳授業地区公開講座と合わせ、多田小ホームカミングデー3回目も実施します。テーマは、「学校、地域」です。

2校時は道徳授業公開、そして、3校時は各学年での地域・保護者の方々と学習・講話・意見交換です。その後、全校で多田小学校校歌を集会で歌います。どうぞ、多田小学校に触れてください。

(2月号) ホームカミングデー御礼

最後の学校公開日、道徳授業地区公開講座、ホームカミングデーには、多数ご来校いただき、ありがとうございました。全学年で、卒業生や地域・保護者の方々と共に学習し、体育館で一緒に校歌も歌いました。テーマ「学校、地域」を考えることができました。

(学校公開のご感想より)多田小学校校歌は私にとって大切なまた大好きな歌です。多田小で過ごした6年間で人間形成がほぼできあがったと思うとても大切な場所です。その頃の先生やお友達と今でもやりとりが続いており、閉校をさみしく感じているようです。体育館での合唱はまたまたとに居合わせた同じく多田小OGの方と歌い終えて二人で涙してしまいました。これからも多田小を忘れることはないでしょう。

(3月号) 広く使いやすい校庭

本校の校庭は、広く使いやすい校庭です。運動会実施にも大変便利な校庭です。実は昔、校庭の南、宝福寺との間に、地域の方が使っていた道がありました。昭和29年にこの道を提供いただき、校庭として広げることができました。広さは約100坪(330㎡)です。地域の方々の理解や多田神社のご協力があったことで、先人のお力に感謝します。

「多田小メモリアル」と題し、多田小学校の歴史や伝統、よさに加えて、閉校にかかわる情報を「多田だより」に1年間掲載してきました。「多田だより最終号(特別号)」発行に際し、その内容をまとめました。